

市民がつくる たのしい・いもの文化

「やさしい・いもの」は 地場の鋳物技術で鋳造し 大和高岡店で
販売する市民参加プロジェクトです。

世界に類のない鋳物産地 高岡。その現場に入って オリジナル

の鋳型を市民が作り “青銅” を職人が流し込みます。

このプロジェクトは 一品しか作れない特殊な生型鋳造法で

あなたの「優しい」想いを“金属のかたち”に変えます。

原型を作らない「易しい」方法なので 誰でも参加できます。

つくる楽しみ 手わたす喜びを 探してみませんか。

【流れ】 鋳造から販売まで

- 1 メールで申込み
- 2 【事前体験】 原型を用いない一品制作の鋳型が作れるかどうかを(株)能作で事前に体験してから参加を決めていただきます。リピーター・経験者の方は《事前体験》無しで正式に参加申込できます
- 3 参加料は実費（一人 4,000 ～ 5,000 円程度を予定。熔解料などは参加者人数割になります。参加料には障害保険料、PL 保険料、青銅 1kg までの料金を含みます。使用青銅が 1kg を超過した人は超過重量分の追加料を支払います）
- 4 【鋳型】(株)能作の工場で市民が鋳型作り（いろんなアイディアで青銅を流し込む隙間を自由に作る作業です）
- 5 【鋳造】(株)能作の職人が錫と銅の合金の青銅を流し込みます
- 6 【研磨】高岡市デザイン・工芸センターで参加者が切削・研磨仕上げをして完成です
- 7 参加者が希望価格をつけます（大和高岡店で全品販売が条件です）
- 8 【販売】実行委員会が製品の安全確認し、販売価格を確定します
- 9 大和高岡店で展示販売（日時は実行委員会が企画します）
- 10 売れた場合は販売額の 75%が参加者へ、25%が高岡大和店へ
- 11 売らなかった品は参加者が大和高岡店内で引き取ります



垂らして固めた原型を使用した作品例



生型鋳造法の鋳型製作風景



本物の葉から鋳造した小物入れ皿の例



青銅の熔解（約 1,100℃）



ナシの型抜き鋳型に薄を彫った作品例



透かし作品をヤスリで削る仕上げ作業

や

さ

し

い い

も

の

【参加募集】 - 親子小学5・6年で参加も可 -

募 集	随時受け付けています
申 込 方 法	< mifune@tad.u-toyama.ac.jp >へのメールに「氏名・年齢・メールアドレス・電話番号」を記入して事前体験へ申込み。事前体験後に正式な申込み者が 20 名程度に達した時点で、日時を調整して実施します
参 加 料	金額を事前にお知らせし、実施の当日朝 (株)能作のショップで支払います
鋳 型 製 作	第 1、第 3 いずれかの日曜日、朝 9 時～（4 時間）(株)能作（高岡市オフィスパーク 8-1）で鋳型を製作し、13 時に(株)能作の職人が青銅を鋳込みます
研 磨 仕 上	引き続き午後、高岡市デザイン・工芸センター（高岡市オフィスパーク 5）で研磨作業をおこない完成させます
保 管	やさしい・いものプロジェクト実行委員会が保管し大和高岡店に搬入します
販 売	点数が揃った時点で まとめて大和高岡店で展示販売します

【問合せ先】 産学官連携事業 やさしい・いものプロジェクト実行委員会

(株)能作、大和高岡店、オタヤ開発（事務局）、高岡市デザイン・工芸センター、富山大学芸術文化学部

メール：mifune@tad.u-toyama.ac.jp TEL：0766-25-9162（富山大学 三船）

（写真は芸術文化学部の授業作品と制作風景です）